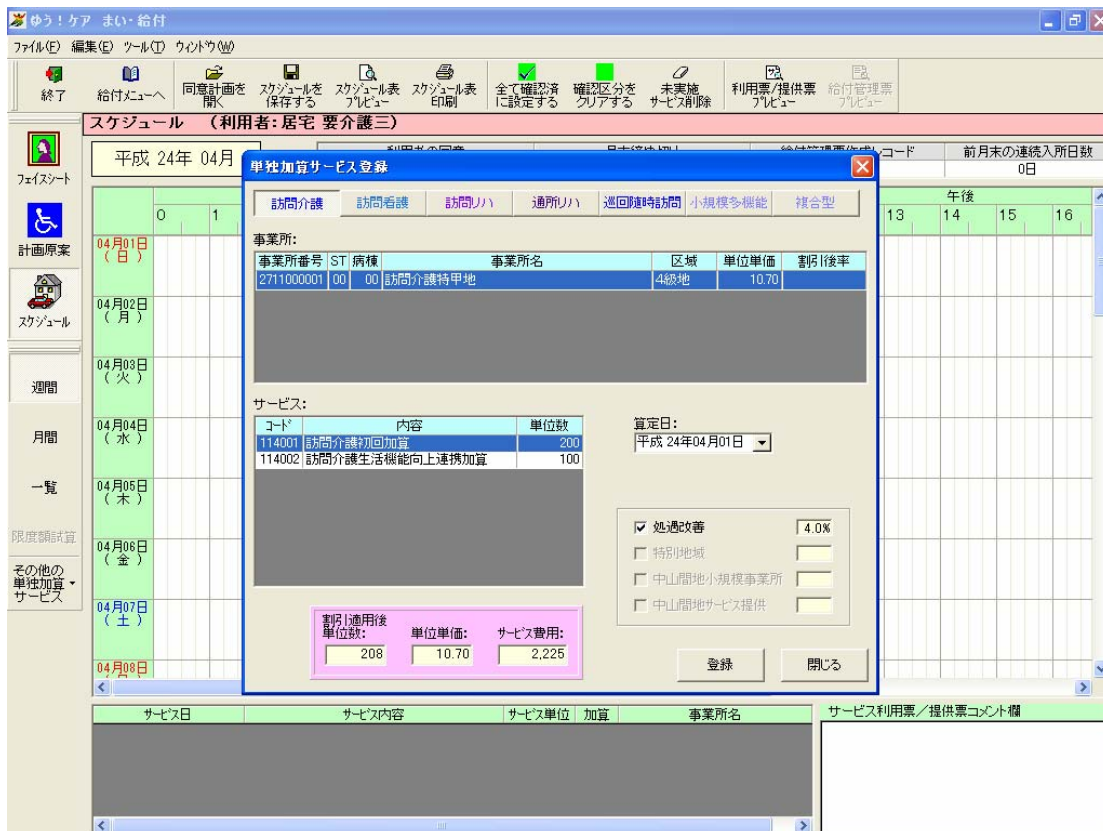


## ■ Ver 9.0.0 の留意点

Ver 900 ではいくつかの留意点があります。[主として『まい・給付』まわり]

- (1) 多くのサービスで単独加算が増えましたので、**単独加算サービス登録画面**でサービスと加算を選択する方式に変えています。ここで算定できる加算は、訪問介護(11)、訪問看護(13)、訪問リハ(14)、通所リハ(16)、定期巡回・随時対応型訪問介護看護(76)、小規模多機能型居宅介護(73)、複合型サービス(77)です。要支援の利用者でも同じサービス画面が表示されますが、単独加算があるサービスは、予防訪問介護(61)、予防訪問看護(63)、予防訪問リハ(64)、予防小規模多機能型居宅介護(75)です。

単独加算は同時に算定できないものがありますが、あまり厳しいチェックは行っておりません。



- (2) 訪問介護(11)の身体介護 20分未満(170単位)は、日中算定するためにはいくつかの要件が必要です。利用者や事業所が要件を満たしていることをご確認の上、使用してください。

また、**生活援助**や**身体生活**は時間の区分が変わっています(25分きざみなど)ので、必ず、単位数や6桁コードを確認してください。..6桁コードの一覧は弊社ホームページに上げています。

- (3) 通所介護(15)は時間の区分が変わっています。

(4) 介護予防通所介護(65)、介護予防通所リハ(66)などでは同一建物に対する減算(要支援1で-376単位)などがあり、月途中での利用開始・終了などで、契約日数が5日以下の場合は、単位数全体が**マイナス**になってしまう場合があります。他にもこのようなパターンがありますが、このような、単位数全体がマイナスになるような場合は0(ゼロ)までの減算で終わりになります(平成24年3月16日Q&A問132)。



このような場合は、サービス事業所の国保連への請求もありません(・従って、給付管理票もありません)ので、**スケジュール画面でサービスそのものを削除してください。**

The screenshot shows the 'スケジュール' (Schedule) screen for '平成 24年 04月' (April 2012). The grid displays days from 04/01 to 04/08. A callout box with the text 'サービス単位数がマイナスになる場合、サービスを削除してください。' (When the service unit count becomes negative, delete the service.) points to the entry for 04/01. The entry details are as follows:

サービス日	サービス内容	サービス単位	加算	事業所名
04月01日 ~ 04月04日	予防通所リハビリ22・日割	-118	(超過)	通所リハ老健

(5) 居宅介護支援費の運営基準減算は2カ月目からは100%減算となり、結果、居宅介護支援費を請求できなくなります。しかし、その利用者も給付管理票を作成する必要がありますので、その場合でも、『給付』では通常どおりに締め処理をしてください。

そして、給付管理票は通所どおりに作成して、**居宅介護支援費の請求では、その利用者のチェックを外してCSVを作成してください。**

サービス提供期間: 平成 24年4月 ~ 平成 24年4月

サービス種類: 居宅介護支援その他

サービス提供情報

- 給付管理票情報
- 介護給付費請求書情報
  - 居宅介護(予防)支援費用
  - 居宅・施設サービス費用
- 個人請求書情報
  - 請求書
  - 領収証
  - 領収証(架空)

変更

サービス年月	保険者番号	被保険者番号	被保険者名	サービス番号	サービス種類	作成元	再保存	状態	端末名称
<input checked="" type="checkbox"/>	01204	271007	0012032103	居宅 要介護五	00	居宅介護支援	給付	-	
<input checked="" type="checkbox"/>	01204	271007	0012032102	居宅 要介護三	00	居宅介護支援	給付	-	
<input checked="" type="checkbox"/>	01204	271007	0012031403	通所 支二介一	00	居宅介護支援	給付	-	

チェック件数: 2件 / 全件: 3件

運営基準減算2カ月目の利用者のチェックを外して請求データを作成します。